

## 第1回広島県国民保護協議会議事録

- 1 日 時 平成17年5月19日(木) 午後2時55分から3時35分まで
- 2 場 所 広島市中区基町10番52号  
広島県庁 本館6階 講堂
- 3 出席者 出席者名簿のとおり48名(末尾記載)
- 4 議 事 (1) 会長の職務代理について  
(2) 広島県国民保護協議会運営規定(案)について  
(3) 国民保護計画に係る策定スケジュール(案)について  
(4) 広島県国民保護計画骨子(案)について
- 5 担当部署 広島県環境生活部危機管理総室危機管理室防災企画グループ  
TEL(082)513-2784(ダイヤルイン)

### 6 会議の内容

#### (1) 会長の職務代理

会長(広島県知事)から、会長の職務代理者について、第1順位に広島県副知事の職にある者、第2順位に広島県環境生活部長の職にある者を指名した。

#### (2) 広島県国民保護協議会運営規程

代理出席について、個人にお願いしている専門的知識又は経験を有する委員である第8号委員を除き、各委員の代理出席を認めること、また、会議が招集できない場合等において、緊急に処理すべき事項が生じたときは、会長による専決ができる旨などを定めた運営規程案が了承された。

#### (3) 国民保護計画に係る策定スケジュール案及び広島県国民保護計画骨子案

国民保護計画に係る策定スケジュール及び広島県国民保護計画骨子について、原案どおり進めることで承認された。質疑等の概要は次のとおり。

(委員)

武力攻撃事態が昼間に発生することがあるかと思う。その場合、地域の幼少年、高齢者、女性だけで避難しなければならないケースが出てくるが、避難する際、戸惑うことも想定される。このようなことも極めて重要なので、計画の策定にあたっては、このような点も留意していただきたい。

(委員)

資料をいただき読ませていただいたが、大変な事態になると考える。指針の 7 ページの (2) に、「消防団及び自主防災組織の充実・活性化」と出ているが、消防団は今後、どのように活動したらいいのか、具体的にお示しいただきたい。私は、国民の生命、財産を守ることが消防の任務だということをわきまえている。特に今日までは、我々の不祥事によって起こる人的災害、また、到底考慮できない自然災害について、どうするかということが中心であった。ところが今度は、武力攻撃ということで、かつて想像したことも想定したこともなく、対象として我々が携わったこともない。私は自然災害との戦いについて、いつも思うが、自衛隊の皆さんはよくやっけていただいている。また常備消防の皆さんは救援組織を作られて、ハイパーレスキュー隊ということで命がけでいろんなことをやっけていただいている。特に昨年の新潟地震とか富山の台風とか、生命を守るために一線で活躍される皆さんの姿をテレビで拝見して、非常に感激し感動している。我々が果たすべき役割は、避難誘導とか情報伝達というような、簡単に言うと、あまり攻撃を受けない分野の活動しか担当していないので、こういう事態になったら、どのようなことを消防団、消防協会に期待されるのかがわかれば、お示しいただきたい。

(事務局)

消防団の役割は、避難者の誘導、特に高齢者、障害者の方の自力で避難が困難な方への援助、また残留者の確認などを考えている。今後、これらを計画に盛り込む必要があると思うので、素案を作成する過程において、いろいろ御意見をいただきたい。

(委員)

18 年度中に、市町の国民の保護に関する計画を策定するという事になっている。まだ県の計画素案ができてない段階であるが、いずれにしても来年度は市町で計画を策定しなければならない。そうすると、今からでも準備しなければならない

ことがあるのかどうか、あるいは、県の素案等ができた段階で市町において準備に入ればいいのかどうか分からないので、その点を教えていただきたい。

(事務局)

市町の国民保護計画を作っていただくのは、県の国民保護計画に記載されたものを受けてという格好になるので、まだ若干時間があると思う。また、県の国民保護計画とは別に、現在、総務省で市町村モデル計画を検討されており、それらも十分反映して作成することになると思う。

(委員)

戦後60年を迎えて、我々60年間平和の中で生活してきたが、世界の情勢から国民保護計画を作らなければならないという、実感としてそんな感じがしている。広島県は、瀬戸内海沿岸部に工場が集中しているし、大竹、江田島、福山に石油化学コンビナートがあるということ、また、米軍の基地、あるいは自衛隊の基地がいろいろあるので、そういったことを十分計画に入れながら作成すべきではないかと思う。いま一つは、田舎の方は危機管理がわりとできているが、大都会110万都市の広島あたり、どのように計画されるのか、都市ほどむしろ難しい面があると思うので、その辺も十分検討していただき、本当に実感できるような計画にしていきたいと思いますと思うので、意見として言わせていただいた。

(会長)

ただ今の御意見は、しっかり受け止めることとする。

(委員)

武力攻撃などで、自主防災会の組織はどのような位置付けになっているのか。我々は毎年、災害に伴う夜間訓練を実施しており、その中に、こういう国民保護法に基づく避難訓練も含めていくのかどうか。その位置付けをお聞きしたい。

(事務局)

国民保護法では、国や県、市町村は、自主防災組織やボランティアが行う自発的な活動に対して必要な支援を行うよう努めなければならないと定められている。県の計画においては、自主防災組織を今後どのように位置付けるのか、素案を作る過程でいろいろ御意見をいただき、作成したいと考えている。

(委員)

計画素案の作成を受けて第2回の協議会を開催するとあるが、計画素案が出来上がれば、内容を検討できるよう、できるだけ早くお送りいただきたいので、その点をよろしく願います。

(事務局)

計画素案については、皆様の御意見を伺いながら作成していきたい。早め早めに情報提供を行う。

## 7 会議の資料名一覧

- 資料1 広島県国民保護協議会運営規程（案）
- 資料2 武力攻撃事態等における国民の保護のための措置について
- 資料3 国民の保護に関する基本指針について
- 資料4 指定地方公共機関名簿
- 資料5 国民保護計画に係る策定スケジュール（案）
- 資料6 広島県国民保護計画について（案）

第1回広島県国民保護協議会出席者名簿

会 長 広島県知事 藤 田 雄 山

機 関 名	氏 名
中 国 管 区 警 察 局	青 木 伸 浩
広 島 防 衛 施 設 局	坂 本 憲 一
中 国 総 合 通 信 局	宮 下 功
中 国 財 務 局	眞 田 純
広 島 労 働 局	河 津 浩 安
中 国 四 国 農 政 局	山 中 恒 造
近 畿 中 国 森 林 管 理 局	村 上 不 二 男
中 国 経 済 産 業 局	大 原 晃 洋
中 国 四 国 産 業 保 安 監 督 部	石 田 勇 治
中 国 地 方 整 備 局	望 月 常 好
中 国 運 輸 局	小 林 堅 吾
大 阪 航 空 局 広 島 空 港 事 務 所	千 葉 了
広 島 地 方 気 象 台	江 口 一 平
第 六 管 区 海 上 保 安 本 部	小 川 哲 郎
陸 上 自 衛 隊 第 1 3 旅 団	内 田 益 次 郎
海 上 自 衛 隊 呉 地 方 総 監 部	道 家 一 成
航 空 自 衛 隊 西 部 航 空 方 面 隊	堀 好 成
広 島 県 教 育 委 員 会	関 靖 直
広 島 県 警 察 本 部	片 岡 義 篤
広 島 県	吉 村 幸 子
広 島 県 市 長 会	山 下 三 郎
広 島 県 町 村 会	佐々木 清 蔵
広 島 県 消 防 長 会	田 村 義 典
独立行政法人国立病院機構本部 中国四国ブロック事務所	大 熊 克 美
日 本 銀 行 広 島 支 店	関 根 淳
日 本 赤 十 字 社 広 島 県 支 部	後 藤 幸 生
日 本 放 送 協 会 広 島 放 送 局	世 良 幹 夫
日 本 郵 政 公 社 中 国 支 社	福 島 司
日 本 道 路 公 団 中 国 支 社	竹 國 一 也
本 州 四 国 連 絡 橋 公 団 第 三 管 理 局	岡 野 哲
日 本 貨 物 鉄 道 株 式 会 社 関 西 支 社 広 島 支 店	遠 藤 雅 彦
西 日 本 電 信 電 話 株 式 会 社 広 島 支 店	森 井 茂 樹
中 国 電 力 株 式 会 社 広 島 支 社	波 若 清 暉
株 式 会 社 日 本 航 空 ジ ャ パ ン 広 島 支 店	柳 田 均
西 日 本 旅 客 鉄 道 株 式 会 社 広 島 支 社	中 井 秀 治
株 式 会 社 エヌ・ティ・ティ・トモ中国	戸 澤 弘 男
広 島 ガ ス 株 式 会 社	中 丸 直 明
広 島 県 旅 客 船 協 会	梅 比 良 数 登
広 島 電 鉄 株 式 会 社	佐 藤 泰 彦
広 島 県 内 航 海 運 組 合	岩 本 信 夫
社 団 法 人 広 島 県 ト ラ ッ ク 協 会	立 川 雅 尉
広 島 県 厚 生 農 業 協 同 組 合 連 合 会	檜 垣 尚 文
社 団 法 人 広 島 県 医 師 会	高 田 佳 輝
	朝 倉 嘉 枝
	木 山 千 之
	野 尻 昭 代
	原 田 照 美
	若 宮 実 雄